

區廳舎建築工事概要

天王寺區元町外四十二ヶ町區は現在區廳舎位置の不便なるこ建物の設備不完全にして且狹隘なるとに鑑み區有建物を築造して之を區役所廳舎に充當するは一般民衆に利便を與ふるのみならず事務能率の増進を期する上に於て其の裨益尠からざるべきを念ひ大正十五年區有土地處分より得たる資金を以て其の財源に充て處分地の一部を利用して其の敷地に充當せんことを企劃せり。即ち大正十五年九月十六日區有建物設備の議を決し昭和二年三月起工、同年十二月二十五日竣成せり本工事施工に付ては區會議員全部建築委員を爲り之が促進に努むる所ありたり今其の工事概要を記すれば左の如し。

大阪市天王寺區廳舎工事概要

一、所在地 天王寺區眞法院町九十一番地ノ五

二、建築樣式 近代式

三、建築物の高さ 五十五尺

四、構造 鐵筋コンクリート構造四層建（地階共）外部窓及出入口はスチールシャッター設置。屋根陸屋根防水裝置クリンカマイル敷。パラペツト、スパニツシユ瓦葺、立關車寄腰廻り花崗石据付、内立關腰大理石張。

（イ）基礎―杭打地形、フーチングスラブ

（ロ）壁體―外部人造石洗出し塗、内部白漆喰塗仕上

五、内部雜作 各窓スチールサツシユ上ゲ下ゲ裝置各事務室床リノリユーム敷及アスハルトプルバー塗。講堂、議場、區長室、應接室の腰羽目入口枠及建具は堅木材着色ニス仕上壁紙張、天井漆喰塗、各階段眞鍮パイプ手摺附。

六、屋上周圍鐵パイプ柵取附各柱頭に照明器具設備あり。避雷針二箇取附く。

（イ）衛生工事

便所は水洗式ブラツシユバルブ附汚水は淨化裝置を施し揚水ポンプ電

動裝置取付け下水に放流す。

(ロ) 電氣工事

各室配線は總てパイプを以て隠蔽工事とし照明器具取附、電話、電鈴工事同斷(二座式交換臺設置)

四分之一馬力モーターサイレン裝置、阿部式電氣時計設置

(ハ) 煖房裝置

低壓式煖房裝置

(ニ) 神明造伊勢神宮

屋上に安置す

七、各階高さ

地階——十尺五寸

一階——十三尺

二階——十二尺

三階——講堂——十八尺
議場——十五尺

屋上塔屋——九尺

八、坪數

(イ) 敷地——六百三十坪五合

(ロ) 建坪

地階——二百十八坪五合

一階——二百三十坪一合七勺

二階——二百二十二坪五合五勺

三階——二百二十二坪五合

屋上塔屋——八坪六合六勺

(ハ) 總延坪九百二坪三合八勺

九、室數

地階——十一

一階——十二

二階——八

三階——八

塔屋——一

計——四十

十、附屬建物

東高堀高さ九尺鐵筋コンクリート構造、人造石洗出

西駒除堀高さ六尺鐵筋コンクリート造人造石洗出鐵管手摺附

十一、工事日程

(イ)地鎮祭〓昭和二年二月十一日

(ロ)起工〓昭和二年四月一日

(ハ)定礎式〓昭和二年十月一日

(ニ)竣工〓昭和二年十二月廿五日

十二、從工者延人員一萬四千百廿五人

十三、主要材料

石材〓二百才

鐵筋〓二百二十八英噸

煉瓦〓一萬二千個

コンクリート〓三百立坪

木材〓五萬五千才

鐵扉鐵障子〓七千平方尺

タイル〓二百五十坪

瓦〓三十五坪

十四、本工事費 十九萬三千七百三十四圓二十七錢

十五、附帶工事

(一)阿部式電氣時計 株式會社阿部式電氣時計製作所

(二)煖房裝置 合資會社大阪煖房商會

(三)電氣照明 大阪電業商會

(四)室内裝飾 大丸吳服店